

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 102

事務事業名	不法投棄対策事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境保全課		
課長名	原 和彦	内線	178
担当者名	麻生 孝洋	内線	143

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	環境衛生費
事業コード	020000	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市内全域		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	不法投棄者の抑制・撲滅を図るとともに、不法投棄がない社会及び循環型社会を創出するための啓発を行う。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	建築廃材等の処理規制が厳しくなったことや家電製品4品目(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)の廃棄処理の有料化以降、平成21年度から新たに家電製品2品目(衣類乾燥機、液晶・プラズマテレビ)が追加され、不法投棄が後を絶たない状況であり、市内一円の巡回・パトロール、指導、摘発を実施する。 また、不法投棄禁止看板等の設置を行う。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 不法投棄パトロール回数	計画値	488	488	486	486	2回×243日=486日
		実績値	452	435	460		
		達成度	92.6%	89.1%	94.7%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度					
成果指標	① 不法投棄家電製品回収件数	計画値					実績値のみを把握
		実績値	26	19	20		
		達成度					
成果指標	② 不法投棄物回収量	計画値					実績値のみを把握
		実績値	11,144	9,424	9,992		
		達成度					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,911	2,629	2,728	3,482	3,049	3,049	3,049	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,911	2,629	2,728	3,482	3,049	3,049	3,049	
② 人件費(千円)	5,481	4,830	4,559	4,152	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.65	0.60	0.60	0.55	不法投棄パトロール、投棄物の運搬・処理、啓発活動	不法投棄パトロール、投棄物の運搬・処理、啓発活動	不法投棄パトロール、投棄物の運搬・処理、啓発活動	
時間外勤務(時間)	19	9	25	30				
嘱託等人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.05				
フルコスト(①+②千円)	8,392	7,459	7,287	7,634				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	新しいダミーカメラの設置や、「監視カメラ録画中」の看板の設置により、不法投棄の減少の効果が上がった。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	パトロールや不法投棄禁止看板の設置などを中心に対策に取り組んでいるが、不法投棄は後を絶たない状況である。今年度もさらなる不法投棄防止の抑止につながるようカメラ等による不法投棄監視を行うが、カメラ無しでの看板対応など新たな機器の購入は価格を精査し検討する。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	不法投棄が後を絶たない状況であるため、引き続き不法投棄防止対策を継続して行く必要がある。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	不法投棄の撲滅には、関係機関(警察署、県央保健所)、環境美化推進員、町内会長等との連携は不可欠であり、市が深く関与する必要がある。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	パトロールによる巡回監視や不法投棄調査等によって、投棄者を特定したり、再発を防止するなどの抑制につながっている。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	不法投棄対策事業の実施は、廃棄物処理の推進や環境美化の推進につながっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	パトロールによる巡回監視等に対し、最低限の人員配置で対応しており、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	消耗品であるダミーカメラの損傷による取り換えの実施、及び継続して関係機関との調整によりパトロールの強化を図りたい。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。